

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和３年度 第２回鶴ヶ島市立南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和３年１０月７日（木曜日） １４時４０分～１５時４５分
場所	鶴ヶ島市立南中学校 ２Ｆ 翔南ルーム
出席委員	内野泰司委員 大塚委員 木名瀬委員 佐藤委員 佐鳥委員 沼田委員 松本委員 三浦委員 山中委員 藤尾委員 細川委員 小池委員 廣田委員 宇津木委員 内野昌史委員 高橋委員 村江委員 真武委員（南中校長） 深谷委員（南小校長）
欠席委員	近藤委員 森田委員 黒川委員
事務局	南小学校 山崎教頭 松本主幹教諭 南中学校 中村教頭 高沢主幹教諭 和田教諭
議題	（１）小・中学校のこれまでの教育活動について （２）情報交換 ・地域の様子、学校への要望・意見等 ・コミュニティスクールフォーラム報告 ・学校応援団の取り組み （３）施設一体型小中一貫校についての熟議 ※グループごとに分かれて議論 最後に議論の内容について発表
配布資料	・令和３年度南小・中学校 学校運営協議会 次第 ・令和３年度 鶴ヶ島市立南小学校 活動の様子 ・鶴ヶ島市立南小学校 学校だより ・令和３年度 鶴ヶ島市立南中学校 活動の様子 ・埼玉県コミュニティスクールフォーラム、学校応援団活動報告 ・鶴ヶ島市立南中学校 学校だより ・施設一体型小中一貫校についての熟議要項 ・１０月３０日（土）南小学校運動会招待状
公開・非公開	公開
傍聴人数	０人
会議要旨	（１）南小学校、中学校の児童、生徒、地域との活動の様子 ・南小教頭より「南小学校 活動の様子」について説明をした。 ・南中教頭より「南中学校 活動の様子」について説明をした。 （２）情報交換 ・南中学校学校応援団コーディネーターより「コミュニティスクールフォーラム」、「学校応援団の取り組み」について説明をし、委員の皆様にご理解をいただいた。 ・委員より「南公園前街路樹落書きの消去」の要望があった。 （３）施設一体型小中一貫校についての熟議 ・南中校長より「施設一体型小中一貫校に対してどのような学校像を期待するのか」について説明をし、委員の皆様を４つのグループに分け、協議し、協議した内容を発表した。

【議事概要】

議題(1)

小・中学校のこれまでの教育活動について

<会長>

情報交換として南小教頭先生、南中教頭先生お願いします。

<事務局 南小教頭>

資料の1ページをご覧ください。簡単にではございますが、南小学校の様子についてお話させていただきます。第1回のこの会で校長から話をさせていただいた学校経営方針のもと教職員一同全力で教育活動に取り組んでおります。ここまでの子供たちの様子について話しさせていただきます。コロナ禍ではありますが、4年生は社会科学習の一環で、高倉のクリーンセンターを見学しました。2年生は生活科の学習の一環で「まちたんけん」をしました。学区内の施設や自然の様子を見てきました。1年生は生活科の学習の一環で運動公園まで出かけました。自然の様子を見たり、遊び場でお友達と楽しく遊んだりしました。4段目をご覧ください。昨年度は水泳学習がありませんでしたので、今年度は2年ぶりの水泳学習となりました。7月には4年生が消防署の方をお招きして「ういて まて教室」(着衣水泳)の学習に取り組みました。資料の2ページをご覧ください。埼玉県警「あおぞら」の方をお招きして、3年生以上の学年がオンラインで非行防止教室を開きました。3年生は社会科学習の一環で市役所に行き、様々な課の方に仕事内容についてのお話を聞きました。7月13日には、きらきらフェスティバルというたてわり班による全校でのお祭りを開催しました。6年生が中心となりさまざまな工夫を凝らした遊びのお店が開かれました。3段目をご覧ください。5・6年生を対象に鶴ヶ島市のスクールロイヤーと南中の真武校長による授業が行われました。スクールロイヤーからはいじめ防止に関する授業、真武校長からは「中学校に向けて」の授業でした。2学期当初の分散登校中は教室を2つに分けて授業や給食を実施しました。3ページ以降は校長の想いがいっぱい詰まった学校だより『あたたかく』になります。今年は、校長の想いがあふれて、月一回では足りません。どうぞお読みください。コロナ感染はいったん落ち着いてきましたが、予防には気を引き締めるところは引き締め、それから、できる活動は少しずつ増やすような形で、引き続き行って参りたいと思います。地域の方々にも、色々なご意見をいただき改善していきたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

<事務局 南中教頭>

まず表紙をご覧ください。本校では、9月1～11日の分散登校期間、ハイブリット授業に取り組みました。教職員は何度も自主研修を開き、老若男女、非常勤の教職員までもICT機器の使い方を学び、授業に臨みました。『機器の使い方わからないことは生徒に聞けばいい』と開き直って取り組みました。17ページをご覧ください。南中学校では、学校で仲間としかできない学びの場を作ろうと言う校長の願いのもと、感染症対策を徹底しながら、5月22日に体育祭を開催しました。2段目をご覧ください。本校のけやき学級の生徒は、目に障害をお持ちである長岡さんと交流させていただいております。鶴ヶ島市社会福祉協議会の『えん』という広報紙にも取り上げていただいたことがあるので、ご存じの方もいらっしゃると思

います。広報紙をご自宅までお届けしたり、歩行支援をさせていただいたりしています。3段目をご覧ください。訊き合い、つなぎ合い、学び合う学校朝会の様子です。本校では、学校朝会で校長自ら、『答えが出ないものを、どうやって周りと折り合いをつけ、調整をして、ひとつの結論に導くか』を、身近なお話、寓話などを題材に、生徒に話し合わせることをやっています。4段目をご覧ください。サザン地域避難所運営訓練です。中学生29名が参加させていただき、体験させていただきました。災害時には、中学生はもはや地域から支えられる立場ではなく、地域を支える立場であることを、身をもって確認することができました。18ページをご覧ください。1学期終業式、2学期始業式、生徒会選挙立会演説会をリモートで行いました。授業や学習に限らずいろいろな教育の場面でICTの活用をしています。2段目、3段目をご覧ください。このあと宇津木様のほうからお話がありますが、小中合同にて夏休みに参加させていただきました埼玉県コミュニティスクールフォーラム、学校応援団での除草作業、廃棄物処分の様子です。小中両校きれいにさせていただいてありがとうございました。4段目、先ほどからお話しさせていただいている分散登校、ハイブリッド授業、分散給食の1コマです。真ん中の写真をご覧ください。家庭科のイージーパンツ製作をハイブリッド形式で授業をしています。教師側（黒板）を映すタブレットと生徒側（被服室）を映すタブレット、2つのタブレットと使って、自宅の生徒に配信し、クラスの半分は被服室で、もう半分は自宅で同じ実習の時間を過ごしているのです。9月が終わり、通常の日々を取り戻しつつあります。今は10月下旬に行われる駅伝大会に向けて、各部を超えて駅伝チームを結成して、学校を挙げて取り組んでいます。今後も生徒が心身ともに成長して、立派な高校生、そして地域社会に貢献できる社会人になれるように、教育活動に邁進していきます。

<会長>

それでは、小学校、中学校の方から児童生徒の様子の報告がありましたが、質問や要望等ありますでしょうか。

<会長>

小学校のほうの運動会ですが、何時ごろかがえばよろしいでしょうか。

<事務局 南小教頭>

9:00から競技が開始いたしますので、8:55ころお越しいただければと思います。8:50までは保護者の方にも校地内にお入りいただかないので、皆様にお越しいただくのも開会式終了後とさせていただきます。

議題(2)

情報交換

<会長>

それでは、次に(2)情報交換に移らせていただきます。

<委員①>

本来ならば、この時期いろいろな地域の行事が行われていたのですが、コロナ禍でできていません。担当者のほうで、インターネットを使って何か行事ができないか考えてもらっています。

<会長>

ありがとうございます。

<委員②>

さきほど中学校のほうでICTを使った教育の話がありましたが、最近こういう集まりでズームなどを使って行っているところもあります。オンラインを使った会議が多く開催されていると思います。9月2日の延期は、緊急事態宣言下で集まると密になるというご配慮だったと思うのですが、ウェブでの参加も可能でしたら開催もしやすいですし、アフターコロナという言葉はなくなって、ウィズコロナですっと行くと思うので、今後ご検討ください。

<会長>

基本的には授業参観もあって、学校の様子を直接見るということも大切です。

<南中学校 校長>

すべての委員の方がウェブで参加できる環境が整うかの問題もあります。

<委員②>

全員ではなくても、先ほどのハイブリッド授業のように家からでも参加できるという形も作ってほしいということです。

<南中学校 校長>

授業も、半分は実際にいて、半分はオンラインでという形がいちばんやりにくいのです。そういった形も考えていかなければならないのだろうなというのはわかりますが、実際に見てほしいという想いもあります。

<会長>

次回以降に検討していく形をお願いします。

<委員③>

中学校、小学校ともコロナの感染に気を遣って授業形態を組み立てたりしたそうですが、実際、具体的に感染者はでたのでしょうか。

<南中学校 校長>

ここにきてはないです。2学期以降は0です。

<委員③>

効果はあったということですね？

<南中学校 校長>

そうですね。

<委員③>

熱中症とコロナの初期症状というのが非常に似ていて、私の会社ではコロナの見落と

しというのがありました。学校はどうか、と思って訊きました。中学生のワクチン接種状況はどうなのでしょう。

<南中学校 校長>

個人情報の観点もあってはっきりとは言えませんが、ここにきてずいぶん接種が進んでいます。齊藤芳久鶴ヶ島市長名で、新型コロナウイルスワクチン接種予約のお知らせが中学生の皆様及び保護者宛に配布され、鶴ヶ島市で中学生と12歳以上の小学生の枠を設けてくれました。

<会長>

ほかにありますか。それでは、私のほうから2点情報提供させていただきます。1点目は、南小中の児童・生徒のアンケートにより名称が決まりました「鶴ヶ島グリーンパーク」についてです。グリーンパークは、駐車場と野球場・太田ヶ谷の森とサッカー場が道を隔てて分けてられています。ここを渡る横断歩道がない状態です。この11月から給食センターの脇の道が通行止めとなり、交通量の増加も見込まれます。そこで太田ヶ谷連合自治会・サザン地域支え合い協議会で市と西入間警察署に要望し、横断歩道を設置することが決まりました11月初めには横断歩道が出来上がる予定です。2点目は、通学路の見直しを埼玉県では5年に1度行っていますが、今年はその年にあたり、また「八街の事故」もあったことから、鶴ヶ島市でも市内5か所の通学路を整備するとのことです。そのうちの1か所は、農村センターの交差点から給食センターに曲がるT字路までの約600メートルの間の白線の内側にグリーンベルトを引くとともに約40本のラバーポールを立てるというものです。今年中に整備されるとのことです。

<南小学校 校長>

今のお話の関連になるかどうかわかりませんが、学校だよりの裏面にも載せさせてもらっていますが、南小では校長へのお手紙を入れる箱を校長室前に用意しています。その中で、子どもから「通学路の途中が、草がぼうぼうに生えていて困っている。なんとかしてくれないか」、「あいさつ通りの路面がぼこぼこしている。なんとかしてくれないか」というものがありまして、その状況を写真に撮って、市役所の担当の方に相談しましたら、速やかに動いてくれました。また歩道に穴が開いていて、子どもが躓いて転ぶということがあったのですが、すぐに対処してくれました。現在、たいらやさんと南公園の間の道路の、公園側の街路樹の幹に、名前と侮辱するような落書きがされています。地域の皆様からお力添えいただけないでしょうか。1日も早く消していただきたいです。

<委員④>

けやきの木ですね。私は初めて聞きました。自治会長として4年が経ちますが、南公園の清掃や下草を刈ってくれとは何度も言われていますが、地域の方からもそういった情報は一切あがっていませんでした。

<南小学校 校長>

彫ってあるので、見にくいのかもしれません。自転車で通りすぎると、わからないかもしれません。見れば、名前も侮辱的な言葉も人を傷つける言葉もはっきり読み取れます。ぜひ声をあげていただけるとありがたいです。西入間警察に言ったのが6月くらいですが、まだ消えていません。

<委員④>

あとで写真を送ってくれますか。

<南小学校 校長>

わかりました。あと朝、南小の東側はスクールゾーンになっていて、コーンを置いているのですが、コーンをどかして通る人が結構います。そして、結構スピードを出されています。それも学校としては、困ったなあと思っています。もしお見掛けしたら、またお力添えしていただければありがたいです。以上です。

<会長>

先ほどの木への落書きに関しては、何らかの形ですぐ対応します。ほかにございますか。ないようでしたら、資料19ページの埼玉県コミュニティ・スクールフォーラム、学校応援団活動報告を、南中学校学校応援団コーディネーター 宇津木 克也さん、お願いします。

<南中学校学校応援団コーディネーター 宇津木 克也様>

埼玉県コミュニティ・スクールフォーラムは埼玉県教育委員会が主催して行われています。今年に関してはコロナの影響でオンラインで行われました。テーマは、コロナ禍において学校、地域、保護者はどうあるべきかについてでした。文科省や事例発表を通して理解を深めるという趣旨でした。中村教頭、佐鳥委員、佐藤委員、細川委員と私の5人でここ翔南ルームで行いました。文科省からは、society5.0の話がありました。子どもたちに、学校だけでは得られない経験や生きる力を身に付けさせてあげてほしいとのことでした。そのために地域と学校との協働活動を推進してほしいとのことでした。戸田市やふじみ野市では、コロナ禍の中でいろいろな活動が中止になる中、今何ができるかという代替案をいろいろ検討したそうです。避難訓練のお手伝いや放課後子ども教室でプログラミングを教えたり、花植えをしたりしたそうです。またコミュニティスクールディレクターを年間を通して招き、何ができるかを共に考えたそうです。緊急時だからこそCS、考動し、考動するCSを目指しているそうです。私からは以上です。佐藤さん、佐鳥さん、何かありますでしょうか。

<会長>

今、宇津木さんから報告がありましたが、何かありますか。

<会長>

今の話で放課後子ども教室がありましたが、南小でもありますが、やっている方の話ですと、やられている方が高齢の方なので、やはりコロナ感染が怖いということで、なかなか取り組むのが難しいというのが出ています。また場所も市民センターが使えないという問題もあるようです。そして、それ以上にやってくださる方がコロナ感染が怖いということから、いろいろやり方があるのかもしれませんが、南小学校区ではやるのが難しい現状のようです。

<南中学校学校応援団コーディネーター 宇津木 克也様>

下の段の学校応援団の取り組みということでご報告させていただきます。資料には日程として7月31日(土)から載っていますが、この前に7月17日と23日にも行っています。歩道にはみ出た草や枝を切ったり、校地内の除草を行いました。最近では南中にあったブラウン管テレビや傷んだ机や椅子などの廃棄物の処分を行いました。南小や南中の学校応援団の方、PTAの方、先生方と最大でも5人くらいで、だいたい1時間くらい、すべてを一回で終わらそうとはせずに、無理しないで何回かに分けてやっていこうというスタンスです。

<会長>

今、宇津木さんから報告がありましたが、何かありますか。無いようですので、次に移ります。

議題(3)

施設一体型小中一貫校についての熟議

<会長>

(3)施設一体型小中一貫校についての熟議について、真武校長先生お願いいたします。

<南中学校 校長>

時間も押しているところなので、今回と次回の2回に分けて行いたいと思います。資料31ページをご覧ください。前回教育総務課が来て学校再編について話がありましたが、10年後に南小中学区で施設一体型小中一貫校が始まるとされています。10年後というとまだまだ先のような気がします。施設や教員配置など課題は山積しており、実はそんなに悠長にはしてられません。今からしっかりとした準備を進めていかないとならないと思います。そこで、テーマは『「施設一体型小中一貫校」に対してどのような学校像(教育理念や施設等)を期待するのか。また、それを実現するために、「学校」「家庭」「地域」で準備すべきことを「熟議」とおして考えてみましょう。』です。どんな学校にしたいのかどんどん意見を出してもらいたいです。そしてそれを実現するために、「学校」「家庭」「地域」でどんな準備をしておけばいいか、2段階で話し合ってもらいたいと思っています。今日は前半部分、理想を語る、夢を語る、でいいと思います。こんな学校がいいな、こんな学校になるといいな、こんな先生がいるといいな、なんでも構いません。小中一貫校になることによって、こんな夢のある学校になるといいな、と考えてほしいと思います。そして次回、今回まとまったものを受けて、それぞれの立場でどんな準備ができるだろうか、考えていきたいと思います。資料のいちばん下をご覧ください。4つのグループに分かれて話し合ってもらいます。お休みの方もいるのでこのあと調整します。それでは、前回の熟議と同じように、黄色い付箋を配るので、そこに「こんな学校にしたいな」ということをどんどん書いてください。そして、それを出し合った後に、教育理念、カリキュラム面、施設面等、内容に応じて意見をグループ分けしてもらい、それを各班発表してもらい、今日は終わりといたします。それぞれのグループにいる学校の職員を中心に場所を作って始めてください。それでは、お願いします。

<南中学校 校長>

それでは、話し合った内容を、各班の代表の方お願いします。

<A班>

私たちの班では

- ・子供たちがすごしやすい学校
- ・一学級の人数が少ない学校
- ・いじめのない学校
- ・居心地がいい学校
- ・縦割り教育の推進
- ・あいさつをし合う学校
- ・スポーツが盛んな学校
- ・変化を畏れない教師
- ・地域の方と一緒に行事ができる学校 等ができました。

<B班>

私たちの班では

- ・英語がいっぱい使えるようになる学校

- ・全国でも上位になるような学力がつけられる学校
- ・柔軟なクラス編成ができる学校
- ・壁がない、オープンスペースのある学校
- ・自校給食、ランチスペースがある学校
- ・職員室が広い学校
- ・小学校から部活動ができる学校
- ・プロ選手に来て指導してもらったり、自由に加入できる部活動の学校

Bグループは以上です。

<C班>

私たちの班では

- ・いじめのない学校
- ・基礎固めができる学校
- ・全面バリアフリー化した学校
- ・トップレベルの子たちが育つような学校（施設や教師陣の充実）
- ・小中一貫の特色が生きる学校
- ・9年間制服のある学校 or 9年間制服のない学校 以上です。

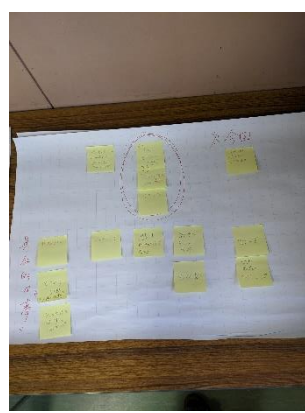
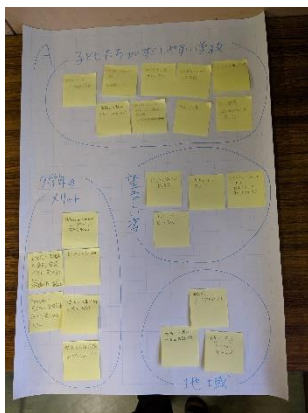
<D班>

まずこの話から少しそれますが、私は児童館勤務の者です。子どもが通われている若い保護者の皆さん、この話にたいへん驚いてらっしゃることを報告します。学区とは必要なのか、通いたくなる学校作りも大切だよね、という話も出ていました。私たちの班では、

- ・何かに特化した学校 ex. 学業、プログラミング等
- ・おいしい学校給食の学校
- ・校長、教頭のリーダーシップが問われることに。
- ・生徒児童が『疑似兄弟』のような関係になる学校 などが出ました。

<南中学校 校長>

短い時間で、たくさんの意見ありがとうございました。なるほどな、という示唆に富んだ意見がたくさんありました。次回にどうつなげていくか考えていきます。ありがとうございました。



<会長>

活発な話し合い、ありがとうございました。今回出し合った意見をもとに、次回施設一体型小中一貫校実施に向けて、学校運営協議会としての提言をまとめたいと思います。本日はありがとうございました。次回は12月3日(金)第3回学校運営協議会、場所は南小学校になります。本日の日程は以上です。本日の会議を終了します。お疲れさまです。